

# 相談しようよ！

「薬物の誘いを断る自信がない」  
「友達が使っているけどどうしよう」  
「薬物を使ってしまった」  
「誰に相談したらいいかわからない」  
自分や友人のことで悩んでいたら、まずは相談してください。  
薬物依存は進行性があるので、一刻も早く相談することが必要です。  
相談に関する秘密は、必ず守ります。

## ●電話で相談する

薬物全般に関する問い合わせ・相談は  
**福岡県薬務課麻薬係**  
TEL:092-643-3287

薬物依存に関する相談は  
**福岡県精神保健福祉センター**  
TEL:092-582-7500

※相談の内容によっては適切な相談機関を御案内します。

## ●メールで相談する

**福岡県薬物相談窓口**  
no-drugs@pref.fukuoka.lg.jp



その他の相談機関や回復支援機関については、「福岡県薬物乱用防止啓発サイト」を御覧ください。http://www.no-drugs-fukuoka.jp/

＝発行＝

福岡県保健医療介護部薬務課麻薬係  
TEL：092-643-3287 FAX:092-643-3305

## 薬物に手を出すと・・・

薬物には、薬が切れた時に生じる不快感に耐えられなくなり、続けて使わないといけなくなる「依存性」と、繰り返し使っているうちに同じ量では効かなくなっていく「耐性」があります。薬物をやめたくてもやめられなくなり、薬物によって、大切な人生や未来が壊れてしまいます。

薬物の急性中毒により、**たった一度の使用でも命を落とすこともあります。**

## ●身心への影響

薬物を乱用すると、身体や脳の大切な部分が壊れてしまいます。**一度ダメージを受けた脳は二度と元の状態には戻りません。**

また、乱用薬物は依存性が強く、薬物依存症になると自分の意志だけではやめることが難しくなります。

その他、**子どもの先天異常**など、妊娠や出産へ悪影響を及ぼしたり、注射の使い回しにより**エイズ**や**肝炎**などを発症することもあります。

## ●自分の将来や家族への影響

薬物の所持や使用などは法律で厳しく規制されています。

したがって、薬物を持っていたり、使ったりすると処罰されることもあります。そうすると、住んでいた地域に住みづらくなったりするほか、就職が困難になったり、仕事を失うなど、大きな代償を払わなくてはなりません。

また、刑務所に入れられることもあり、例えば覚醒剤を持っていた場合、**10年以下の懲役**に処せられることがあります。

自分の将来だけでなく、家族への影響なども考えると薬物の乱用には何もいいことはありません。



## ●社会への影響

薬物乱用は、人の精神に大きな影響を及ぼし、自分で感情のコントロールができなくなります。

依存状態になると、生活の優先順位が大きく変化し、家族や自分の健康、将来の夢よりも薬物を優先するようになって、さまざまなトラブルを起こしてしまいます。薬物を手に入れるために**窃盗、強盗、売春、殺人**などの犯罪を引き起こすこともあり、家庭や社会へ悪影響を及ぼします。

また、**薬物乱用による妄想、幻覚が殺人や放火等の凶悪犯罪や交通事故を引き起こすこともあります。**

## 甘い誘いに注意！

覚醒剤や大麻などの薬物は、本来の呼び名ではなく、様々な隠語でよばれることがあります。かっこいい呼び名に惑わされたり、薬物と知らずに手を出してしまう人もいます。薬物乱用で多いのは、友達や先輩から勧められて、仲間はずれになりたくないという思いから、つつい手を出してしまうというケース。「1回だけなら平気さ」「やせられるよ」「眠気がとれて、勉強がはかどるよ」「最高の気分になれるよ」などの甘い言葉で薬物を使うよう誘ってきます。**甘い言葉にだまされないように十分注意しましょう！**

## 「はっきり、きっぱり」断ること

あいまいな断り方では、「強く誘えば断れない」と相手に思わせてしまうので、「はっきり、きっぱり」断ることがポイントです。何回誘ってきても、態度を変えてはいけません。また、誘われてしまっている状態から抜け出すため、**その場から立ち去る**ということも重要です。

## 薬物に関するQ&A

**Q. 薬物を使うと、すっきりする、痩せるって聞いたけど、どうなんですか？**

**A.** 薬物を使うと、一時的に、不安な気持ちが無くなったり、気分がよくなったように感じることがあります。また、脳が異常に興奮し、空腹を忘れるので、食欲が無くなったりします。これは薬物によって身体をだましているだけで、無理やりよいものだと錯覚させたり、不健康に食欲を無くして、やつれているだけで、**健康的なダイエットとは全く別のも**のです。

**Q. 1回だけなら大丈夫って言われたけど、本当のところは？**

**A.** 薬物には、1度でも使用すると、繰り返し使用したくなり、自分の意志ではやめられなくなってしまう「**依存性**」と、繰り返ししていくうちに、同じ量では効かなくなる「**耐性**」という特性があります。はじめは、1回だけ・・・と思っても、どんどん使用量や回数が増えていきます。**自分だけは大丈夫、自分の意志でいつでもやめられる、という気持ちは通用しません。**

**Q. 薬物の使用をやめたいけど、やめられない。どうしたらいいですか？**

**A.** 薬物についての相談を受けたり、薬物の使用をやめたい人を支援する専門機関（リーフレット又は啓発サイト参照）がありますので、相談してください。



## 福岡県薬物乱用防止啓発サイト



福岡県では、大学や専門学校などで薬物乱用防止に関する講義を受講する機会の少ない学生等を対象にした薬物乱用防止啓発サイトを開設しました。近年、大きな社会問題となった危険ドラッグや大麻等の違法薬物については、若年層にも広がっていることが懸念されています。

このサイトでは、福岡県出身のタレント「**原口あきまさ**」さんからの若者に向けたメッセージや、**大学生から同世代に向けたメッセージ**なども動画で紹介しています。

薬物の恐ろしさを知っていただき、薬物には絶対に関わらないようにしていただきたいと思えます。

## 福岡県薬物乱用防止啓発サイト

http://www.no-drugs-fukuoka.jp/

福岡県薬物乱用防止啓発サイト

検索

